



町田市立町田第三中学校

三中 News

第18号

令和7年 2月18日 発行

町田市本町田1853番地
電話 042(722)6095
FAX 042(721)4386
ホームページをご覧ください。

<http://www.machida-ky.ed.jp/j-machida3/>

「町田第三中学校」で検索

誇れる上級生 学ぶ下級生

【表彰された2年生】

おはようございます。寒い日が続きますね。関東以外では、大雪による生活への支障が様々生じているというニュースを耳にします。世界の平均気温が観測史上過去最高を記録するなど、地球温暖化が進んでいる中、なぜ大雪が降るのか不思議な気もしますが、まとめて大雪が降るのも、地球温暖化を原因とするものなのだそうです。ぜひ、ネットで「地球温暖化 大雪」という二つの言葉で検索して調べてみてください。最初にうれしいニュースを二つお知らせします。2月10日町田市役所で、町田市教育委員会児童生徒表彰式が行われ、本校2年男子生徒が全国中学生フラッグフットボール大会ジュニアカップでの準優勝という成果が認められ、表彰され、東京都でも表彰されました。また、2月12日には朝食レシピコンテストの表彰式が行われ、3441点の応募作品から、本校2年男子生徒が最優秀賞に選ばれ表彰されました。二人の2年生、おめでとうございます。

【三日会はざれば刮目(かつもく)して見よ】

さて、先月行われた1年生のスキー移動教室は、大雪の恩恵を受け、非常に良いグレンデコンディションに恵まれました。グレンデコンディションがいいと、スキーの上達も早くなります。おかげで今年の1年生はけが人も出ず、上達する生徒が多かったようです。「校長先生、なぜ2泊3日なのですか。4泊5日にしてください。」などという生徒も何人もいました。スキー移動教室後は、授業態度がよくなったという先生方からの報告も受けています。2年生に進級する自覚も芽生えてきて、成長の跡が見られるのは素晴らしいことです。また、2年生は1月に職場体験に出かけました。3日間という短い期間の体験でしたが、2年生も体験を終えてから随分変わったという声が聞こえてきます。例えば言葉遣いなど礼儀・マナーの大切さを知ったというような感想を述べている生徒もいます。スキー教室も職場体験も三日間でした。「三日会はざれば刮目して見よ」という言葉があります。「刮目」とは目を見開くことですが、人間は三日間あれば大きく変わるという慣用句です。1年も2年も、たった三日間で、人生観や学校の過ごし方にまで影響を受けて成長した人たちがいます。AIがどれほど進化しようとも、体験に勝る学びはありません。ぜひこれからも行事や部活動などの体験、学校生活での体験を通して成長して行ってください。

【都立推薦入試結果】

1月31日には都立高校の推薦入試の合格発表がありました。87名の3年生がチャレンジし、49名が合格しました。合格おめでとうございます。推薦入試は平均3倍くらいの倍率がある、狭き門です。内申点という中学校での成績、入試日に行われる面接や作文・小論文試験等の結果を総合的に判断して合否が決定されます。今年度は合格率56.3%という堂々たる結果でした。よく頑張りました。まだ進路が決定していない人たちは、私立高校入試や21日に行われる都立一般入試にチャレンジすることになります。ぜひ、自分の進路希望を実現できるよう、最後のひと踏ん張りを期待しています。朝読書や朝Qubenaの時間に巡回していると、3年生のフロアは、しんと静まり返り、誰一人後ろを振り向いたり立ち歩いたりしておらず、大変集中している様が見えます。朝のこの時間は、心を落ち着けて一日のスタートにふさわしい学びの雰囲気を作るための大変重要な時間です。1・2年生で本を忘れたり、クロムブックの充電を忘れたりしている生徒。どうか3年生が築き上げてきた、誇れる先輩の姿を、引き継いで行ってください。4月に入学する新入生たちに、なんだだらしのない先輩たちだな、と言われるのではなく、さすが上級生は違うな、と思わせてくれることを心から期待しています。

【誇れる上級生、学ぶ下級生】

先輩に学ぶことができるのはあと約一か月です。学校に限らず先輩・後輩という関係は必ず存在します。先輩からは今年の3年生の朝読書時の態度に代表されるような、学ぶことが多いのですが、残念ながらときには真似してはいけない先輩の言動も存在します。しかし、もしそんな言動が耳に入ってしまったら、ああこうしてはいけないのだな、と学ばせてもらっていると考える方がよいと思います。半面教師という言葉もありますね。5つの大切の中には、自分・相手という二つが入っています。相手を大切にするというのは、同級生や下級生に対し

てももちろんですが、先輩たちや年上の方々を大切に、という教えも含まれています。周りの人を大切にできる人は、自分を大切にできる人でもあります。職場体験で2年生が礼儀の大切さを学んだという感想をもった、これはそういう大切さに気付いたのだと思います。2年生も立派な先輩になりつつあることをうれしく思います。本校にはキャッチフレーズがいろいろありますが、「誇れる自分、誇れる仲間、誇れる三中生」「誇れる上級生、学ぶ下級生」というキャッチフレーズもあります。「5つの大切」を立派に実行した3年生の皆さんに、1・2年生も続きましょう。

◎雪に恵まれたスキー移動教室

1月16日（木）から18日（土）の2泊3日の日程で1年生が、白樺湖ロイヤルヒルスキー場で行われたスキー移動教室に参加してきました。心配された宿泊先でのインフルエンザやコロナの感染はなく、75センチと豊富な積雪量もあって、大きなけが人もなく帰ってくることができました。

スキー教室実行委員が、生徒に指示を出すときの言葉を工夫して、話そうとしている人の目を見る＝静かにするというので、ことあるごとに「君の瞳に乾杯」というフレーズを貼り付けたプラカードを掲げ、何度も「静かにしてください」というアナウンスが流れることなく、話を聞くことができる体制が整うようになりました。「いただきます」のあいさつも、「君の瞳に」と委員が言うと、「乾杯！」と全員が答え、最初は照れ臭そうだったのが、次第に笑顔がこぼれるようになっていきました。

食事は朝と晩がピュッフェスタイルということで、最初は遠慮がちだったおかわりも、終わりのころには何度もおかわりする元気な姿が見られました。あいさつの声の小ささや後片付け、集合時間など、最初のうちは課題も見られましたが、次第に改善され、実行委員から「修学旅行では」という2年後を見据えた発言も出るほど、この行事の意味をしっかりと意識していた生徒もたくさんいました。

「なぜ4泊5日ではなく、2泊3日なんですか。」「もっと長くない。」という言葉があちこちから聞こえたのが今年の特徴です。雪の量と質がよくて、存分にスキーを楽しむことができたことも大きかったとは思いますが、トラブルなく集団生活を送るために、実行委員を始めとして皆が頑張った結果でもありましたね。1年生の皆さん、お疲れ様でした。



◎久しぶりの職場体験

コロナ前には5日間行われていた職場体験ですが、コロナ期間はずっと休止していました。今年度より3日間と期間は短縮されましたが、いよいよ復活し、2年生の心には社会や働くことの大変さがしっかりと刻み込まれたようです。生徒を受け入れてくださった事業所の皆様、大変お世話になりました。次年度もどうぞよろしくお願ひします。2年生は、これを機に働くことについて考え、将来のキャリア選択に活かしていってほしいと思います。3日間よく頑張りました。お疲れ様でした。

